

令和3年度 中越学園事業報告

1. 法人の概要

①設置する学校、学部、学科

長岡大学 経済経営学部 経済経営学科
 中越高等学校 全日制 普通科

②当該学校の入学定員及び学生生徒数の状況（各年5月1日現在）

学 校 名	令和3年度				令和4年度			
	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員	入学定員	入学者数	収容定員	収容現員
長岡大学	100	98	400	463	125	125	425	455
中越高等学校	320	311	960	919	320	276	960	840
計	420	409	1,360	1,382	445	401	1,385	1,295

③役員及び当該学校の教職員数の概要

学 校 名	令和3年度			
	役員数	評議員数	専任教員数	専任職員数
法 人	10	23	/	0
長岡大学	/	/	22	20
中越高等学校	/	/	64	5

（令和3年5月1日現在）※（外）は外部理事

(1) 役員（理事定員 9～13 人） （監事定員 2～3 人）	
理事長	村山 光博
理 事	八田 元史 室賀 俊介 鎌田 積（外） 小島 孝之（外） 近藤 和義（外）※ 小川 浩司（外） 佐竹 和行（外）
監 事	北村 敏雄 斉藤 稔

(2) 評議員（定員 19～27 人）	
品川 十英※	荒木 紳雄
八田 元史	馬場 美香
寺澤 喜義	小見 慎一
金子 頼巳	佐藤 敦
矢澤 和比呂	田澤 廣之
覚張 良太	室賀 俊介
牛腸 正	鯉江 康正
上村 寛男	鎌田 積
諸橋 陽一	小川 浩司
村山 光博	若木 慈
佐竹 和行	後藤 暁
早川 雪枝	

※令和3年5月31日近藤和義理事退任
 令和3年6月1日大出恭子理事就任

※令和3年6月21日品川十英評議員退任
 令和3年12月1日丸田一嗣評議員就任

④役員賠償責任保険契約（令和3年度）の内容

【加入責任期間】令和3年4月1日～令和4年4月1日

【引受保険会社】東京海上日動火災保険（株）

【被保険者】中越学園の理事・監事、評議員、執行役員、管理職従業員、社外派遣役員、退任役員

【支払限度額・免責金額】保険期間中総支払限度額 300,000千円（免責金額 0円）

【保険料】112,000円

⑤法人の沿革

明治38年12月 女子師範学校入学の予備教育を目的とする私塾として開校、斎藤女学館と称する

大正15年 2月 甲種実業学校として設置認可される

昭和 3年10月 長岡高等家政女学校に改称する

19年 3月 財団法人長岡女子商業学校として設置認可され、校名を変更する

21年 3月 財団法人名と学校名を、長岡高等家政女学校に改称する

23年 4月 新制高等学校に転換し、長岡家政学園高等学校と称し、中学校を併設

26年 2月 財団法人を学校法人長岡家政学園に組織変更認可される

31年 4月 高等学校名を中越高等学校と改称し、男女共学とする

34年12月 学校法人名を中越高等学校と改称する

42年 6月 長岡みどり幼稚園開校

46年 3月 法人名を中越学園に改称する

46年 4月 長岡女子短期大学(経済学科)開校

48年 4月 長岡短期大学に改称する

61年 4月 長岡短期大学経済学科を経済専攻と経営情報専攻とに専攻分離

平成 2年 4月 長岡短期大学経営情報学科開設

3年10月 長岡短期大学地域研究センター設立

5年 4月 長岡短期大学専攻科開設

6年 4月 長岡短期大学生涯学習センター設立

8年 3月 中越高等学校商業科廃止

11年 9月 長岡みどり幼稚園廃止

13年 4月 長岡大学(産業経営学部産業経営学科)開校

14年 7月 長岡短期大学廃止

19年 4月 長岡大学(経済経営学部環境経済学科・人間経営学科)を設置
(産業経営学部を募集停止)

24年 3月 長岡大学産業経営学部産業経営学科廃止

26年 4月 長岡大学(経済経営学部経済経営学科)を設置
(経済経営学部環境経済学科・人間経営学科を募集停止)

長岡大学地域連携研究センター設立

(長岡大学地域研究センター及び長岡大学生涯学習センターを合併)

28年 8月 長岡大学収容定員増に係る学則変更認可

29年 4月 長岡大学収容定員変更(320名→400名)

30年 5月 長岡大学経済経営学部人間経営学科廃止

令和 2年 5月 長岡大学経済経営学部環境経済学科廃止

4年 4月 長岡大学収容定員変更(400名→500名)

2. 長岡大学に関する事業

(1) 中期計画に基づく令和3年度事業における重点項目

「長岡大学中期計画」(平成29～令和3年度)に掲げた目標の達成を目指して、令和3年度においては、以下の項目について重点的に取り組んだ。

(1-1) 教育改革・学生支援

① 教育力の向上

- ・教育力の向上のため、FD (Faculty Development : 教員の資質開発) に関する会議・研修 (表1) を計画的に実施し、ルーブリック評価活用等の教授法の確立に取り組んだ。

表1 2021(令和3)年度 FD 会議 開催実績

開催日	開催時間	内容
8月25日(水)	15:30～17:00	ルーブリックについての確認
8月26日(木)	10:00～11:30	研究倫理についての講習会
	13:00～14:30	PROG 解説と活用方法
	14:30～16:00	ルーブリックに関するワークショップ
10月27日(水)	16:35～17:35	ルーブリックに関する説明、シラバス記載方法の説明
2月24日(木)	13:00～14:30	地域志向研究報告会
	13:45～15:20	教授法のレベル向上のための研修

② カリキュラムの点検と改善

- ・カリキュラム検討委員会を中心に、本学の教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき、カリキュラムの点検を行った。
- ・点検の結果、2020(令和2)年度から稼働している「2020 カリキュラム」において大きく改善すべき点は見つからなかった。

③ 資格取得の推進

- ・資格検定試験の受験対策講座(表2)を開講し、合格に向けた支援を行った。
- ・令和3年度は資格検定試験の受験者及び合格者数が著しく増加した(表3)。

表2 2021(令和3)年度 資格検定対策講座 開講実績

対応資格検定試験	試験日	対策講座 開講日	延べ時間 (時間)	受講 人数
Word 文書処理技能認定 試験 1・2級	12/11	11/30(火)、12/1(水)、12/7(火)、12/8(水)、 12/10(金)	10	11
	2/4	1/21(金)、1/31(月)、2/2(水)	5	7
Excel 表計算処理技能検 定 1・2級	7/3	6/18(金)、6/24(木)、6/25(金)、7/1(木)、7/2(金)	10	9
	2/4	2/1(火)、2/3(木)	6	17
PowerPoint プレゼンテ ーション技能認定試験 上級	7/17	7/6(火)、7/7(水)、7/13(火)、7/14(水)、7/16(金)	10	8
	9/25	9/14(火)、9/15(水)、9/21(火)、9/22(水)、 9/24(金)	10	12
日商簿記検定 1・2級	6/13	6/1(火)、6/3(木)、6/8(火)、6/10(木)、6/12(土)	10	6
	2/27	2/21(月)、2/24(木)、2/26(土)	10	5
福祉住環境コーディネ ーター検定 2級	11/15- 12/13	10/21(木)、10/28(木)、11/4(木)、11/18(木)、 11/25(木)、12/2(木)	9	6

表3 資格検定試験 受験者及び合格者数推移（令和2～3年度）

資格検定試験	2020(令和2)年度			2021(令和3)年度		
	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
Word 文書処理技能認定試験 1級	11	4	36.4%	15	12	80.0%
Word 文書処理技能認定試験 2級	50	38	76.0%	92	65	70.7%
Word 文書処理技能認定試験 3級	22	16	72.7%	44	36	81.8%
Excel 表計算処理技能認定試験 1級	4	2	50.0%	19	15	78.9%
Excel 表計算処理技能認定試験 2級	26	16	61.5%	73	57	78.1%
Excel 表計算処理技能認定試験 3級	20	14	70.0%	41	36	87.8%
PowerPoint プレゼンテーション技能認定 上級	27	23	85.2%	44	40	90.9%
IT パスポート試験	2	2	100.0%	18	7	38.9%
ドットコムマスターベーシック	19	14	73.7%	18	17	94.4%
経営学検定初級	4	3	75.0%	13	11	84.6%
日商簿記検定 2級	7	1	14.3%	40	13	32.5%
日商簿記検定 3級	30	16	53.3%	57	9	15.8%
リテールマーケティング(販売士)検定 2級	6	2	33.3%	7	7	100.0%
リテールマーケティング(販売士)検定 3級	3	1	33.3%	13	13	100.0%
ファイナンシャル・プランニング技能士 3級	11	4	36.4%	17	6	35.3%
福祉住環境コーディネーター 2級				6	4	66.7%
福祉住環境コーディネーター 3級				9	6	66.7%

④ 単位制度の実質化

- ・単位制度の実質化（1単位：標準45時間の学修時間）に向けて、学生の授業時間外の学修時間を確保するために、各授業において適切に課題を課す等の対応を行った。

⑤ アカデミック・アドバイザー制度の充実

- ・アカデミック・アドバイザー制度における学生とゼミナール担当教員とのマンツーマン面談を計画的に実施し、学生が有意義な大学生活を過ごせるように助言等を行った。

⑥ 学生の課外活動に対する教育的観点からの支援

- ・学生のサークル活動やボランティア活動等の課外活動については、学生から事前にコロナ対策を講じた活動計画書を大学に提出してもらうことで学内外での活動を認めた。
- ・コロナ禍の中、各サークルが感染症対策を講じながら活動に取り組んだ。

⑦ グローバル社会に向けた学生の意識向上

- ・2021年11月23日(火)、学友会執行部主催による「国際交流バスツアー」が開催され、留学生と日本人学生を合わせて11名が参加した。
- ・海外体験授業科目「グローバルスタディ」は、海外渡航困難のため休講とした。

⑧ 教育環境の点検と改善

- ・大学評価室により全学生対象の第17回学生満足度調査（「長岡大生の生活と大学に関する調査」）を実施した。
- ・2021年9月22日(水)開催のSD(Staff Development：教職員の職能開発)会議において、前年度実施した第16回学生満足度調査の集計・分析結果を教職員間で共有し、大学評価室から各委員会への改善依頼を行った。

(1-2) 就職支援

① 早期からの就職に対する学生への意識付け

- ・早期から学生の就職に対する意識を高めるため、3年生を対象に企業の現場を見学する企業見学バスツアーを計5回実施（表4）し、学生に業界研究の機会を提供した。

表4 2021年度企業見学バスツアーの概要

	日付	訪問先企業	参加者数
第1回	2021年11月4日(木)	・(株)スズキ自販新潟 ・伊米ヶ崎建設(株)／大栄産業(株) ・八海醸造(株) ・高速紙工業(株)	15名
第2回	2021年11月11日(木)	・越後ながおか農業協同組合 ・(株)新潟県厚生事業協同公社 ・(株)三光社 ・(株)諸長	14名
第3回	2021年11月25日(木)	・(株)サンカ ・アーランドサカモト(株) ・日産部品新潟販売(株) ・スワロー工業(株)	16名
第4回	2021年12月9日(木)	・(株)アジカタ ・新潟日野自動車(株) ・(株)タカヨシ ・新潟総合警備保障(株)	16名
第5回	2021年12月16日(木)	・燕市役所 ・森井紙器工業(株) ・(株)川内自動車 ・リコージャパン(株)	13名

② 企業との信頼関係の構築による基盤強化

- ・企業訪問による求人情報の収集や企業との信頼関係の構築を通して、県内企業への就職に向けた基盤の強化を図った。

③ 長岡大学主催合同企業セミナーの開催

- ・2021年2月22日(火)と25日(金)、長岡グランドホテルにおいて「長岡大学主催合同企業セミナー」（2日間で延べ100社が参加）を開催し、3年生の学生約90名が企業研究を行った。

④ 就職後のフォローアップ

- ・本学の卒業生が就職した企業を就職支援室職員が適時訪問し、入社後のフォローアップを行うとともに、やむを得ず離職した卒業生に対しては要望に応じて再就職支援を行った。

⑤ 留学生への就職支援の強化

- ・留学生の日本での就職を支援するために、就職支援室を訪れた留学生との面談を実施し、留学生への就職関連情報の提供を行った。
- ・卒業した留学生14名のうち4名が国内で就職（県内1名、県外3名）、2名が国内の大学院へ進学した。

(1-3) 学生の募集と受け入れ

① 入学定員増の検討

- ・経済経営学科の入学定員100人を2022年度から125人に変更する申請書を文部科学省へ提出し、8月27日付けで認可された。

② 効果的な広報活動の展開

- ・延べ 119 校（前年 202 校）の高校訪問を実施し、進路指導担当教員への情報提供を行った。
- ・進学説明会は高校内と会場形式を含め 52 件（前年 42 件）に参加した。
- ・出前講座、分野別・系統別説明、小論文・面接指導等 12 件（前年 23 件）に参加した。
- ・高校、中学校等の生徒による大学見学を 20 件（前年 8 件）受け入れた。

③ ホームページの改修

- ・公式ホームページをスマートフォンやタブレットへの完全対応を含めて全面的に改修し、紙媒体から電子媒体へと広報手段のシフトを図るための基盤を整えた。

④ 新しい入学者選抜方法の点検と改善

- ・学内の入学者選抜方法検討会議を中心に、受験生の学力の 3 要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度）を多面的に評価するために令和 2 年度入試から導入した新しい選抜方法を点検し、改善案を策定した。

⑤ 優秀な留学生の受入れ

- ・国内外における留学生入試を計画的に実施し、本学のアドミッション・ポリシーに合致する高い意識を持った留学生を 1 年次 4 名（中国 3 名、モンゴル 1 名）、2 年次編入学 1 名（モンゴル 1 名）、3 年次編入学 1 名（中国 1 名）の計 6 名受け入れた。

(1-4) 研究活動の活性化

① 地域志向研究の推進

- ・本学教員による地域志向研究として 4 件の研究課題（表 5）を採択し、各教員が調査研究に取り組んだ。
- ・研究成果は 2 月 24 日（木）に本学で開催した「地域志向教育研究成果発表会」において発表した。

表 5 地域志向教育研究 採択課題

研究者	調査研究課題
権 五 景 教授	栃尾地域の繊維産業の変遷は何を物語っているのか
生島義英 准教授	長岡市撰田屋地区への来訪者に関する基礎的研究
村越真紀 准教授	コロナ禍後の長岡市内へのインバウンド誘致に向けて
喬 雪 氷 専任講師	文化立国論への再考 ～十日町きもの文化村の可能性について～

② 研究成果の積極的な発信

- ・論文誌の「地域連携研究」（11 月）及び「長岡大学研究論叢」（3 月）を刊行し、学外に向けて教員の研究成果の発信を図った。

③ 科学研究費補助金（科研費）の申請に向けた研修会の企画・実施

- ・全教員を対象として科研費の応募に対する効果的な申請書類の作成に関する研修会を 8 月 26 日（木）に開催し、採択に向けた申請書のポイントについて確認した。
- ・令和 4（2022）年度科学研究費補助金に 1 件が採択された。

④ 外部研究資金獲得の促進

- ・外部研究資金の獲得を促進するために、企業や研究支援団体から寄せられる研究公募情報を総務課で適時に取りまとめ、教員へのメール配信により周知を図った。

⑤ 研究倫理教育とコンプライアンス教育の計画的実施

- ・学内の不正のない研究環境を維持するため、8月26日(木)のFD会議として「研究倫理・コンプライアンス研修会」を実施した。

(1-5) 地域連携

① NaDeC (ナデック) 構想事業への協力

- ・長岡市と市内4大学1高専が連携して人材育成や産業活性化などに取り組む「NaDeC構想」の事業に協力し、関連するいくつかの会議体に本学の教職員が参加した。

② 長岡大学文化講演会の開催

- ・毎年7月に開催してきた長岡大学文化講演会は、コロナ禍において開催は難しいと判断し、2021年度は前年度に引き続き中止とすることとした。

③ 地域連携研究センターシンポジウムの開催

- ・本学教員による地域志向研究の成果を地域に還元するため、2021年11月19日(金)に、まちなかキャンパス長岡301会議室を会場に地域連携研究センターシンポジウム(表6)を開催した。
- ・今回は、感染防止対策として対面とオンラインを併用して開催し、対面19名、オンライン5名の参加者を得た。

表6 2021長岡大学地域連携研究センターシンポジウム 概要

テーマ	新型コロナウイルス感染症による地域経済・福祉への影響
日時	2021年11月19日(金) 13:30~15:40
会場	まちなかキャンパス長岡 301会議室(長岡市大手通2丁目6番地)
対象者	一般市民 他
定員	30名(オンライン50名)

④ 公開講座および社会人向けセミナーの開講

- ・まちなかキャンパス長岡と連携し、一般市民を対象とした公開講座(表7)を開講した。

表7 2021年度長岡大学公開講座 一覧

講師	タイトル	日時	参加者数
栗井英大 (教授)	令和3年度長岡大学公開講座スタートセミナー (ポストコロナの企業経営)(全1回)	7月21日(水) 19:00~20:30	20名
高島幸成 (専任講師)	仕事を高速化するExcel利用法(初級)(全1回)	8月18日(水) 16:00~17:30	7名
	仕事を高速化するExcel利用法(中級)(全1回)	9月1日(水) 16:00~17:30	5名
坂井一貴 (准教授)	初心者向け!リモート会議サービスZoomを使って みよう!(全1回)	8月21日(土) 13:00~16:00	9名
中村大輔 (准教授)	会社の取引はどのように記録・報告されるのか(複 式簿記入門)(全10回うち、まちキャン閉館により 2回で終了)	8月26日(木) ~9月2日(木) 18:30~20:30	6名
山川智子 (教授)	健康経営とメンタルヘルス・マネジメント ~しんどくならない働きかたを目指して~(全4回)	9月24日(金) ~10月22日(金) 19:00~20:30	10名
武本隆行 (准教授)	折込広告の実践術~科学的な戦略設計(全2回)	10月6日(水)、 10月20日(水) 16:00~17:30	3名

⑤ 教育機関との連携

- ・中越高等学校との教職員交流「悠新会」は、コロナ禍において開催が難しいと判断し、前年度に引き続き 2021 年度は中止することとした。

(1-6) 大学運営管理

① 第 2 期中期計画の策定

- ・2022 年度からの第 2 期中期計画を策定し、11 月開催の学園理事会において承認を得た。

② 人事考課制度の検討

- ・人事考課制度に関しては、第 2 期中期計画において改めて検討を進めることとした。

③ 5 S 活動の推進

- ・5 S（整理、整頓、清掃、清潔、習慣化）活動は事務局を中心に計画的に実施されており、学園協議会大学部会（大学執行部により構成）においてその進捗状況について確認を行った。

④ 事務処理効率化の推進

- ・事務処理効率化の一環として教授会のペーパーレス化を実施し、デジタルデータによる情報共有を推進した。

⑤ SD (Staff Development : 教職員の職能開発) の計画的実施

- ・SD に関する会議・研修会（表 8）を計画的に実施し、大学運営において求められる教職員の資質・能力の向上を図った。

表 8 2021 年度 SD 会議 開催実績

開催日	開催時間	内容
4 月 1 日 (木)	16 : 00 ~ 17 : 00	2021 年度方針説明会
4 月 28 日 (水)	16 : 30 ~ 18 : 00	令和 2 年度中期計画達成に向けた「行動実績」の発表
		令和 3 年度中期計画達成に向けた「行動計画」の発表
		令和 2 年度自己点検評価書の報告
		新米百俵奨学金制度の説明
5 月 26 日 (水)	16 : 30 ~ 18 : 00	ハラスメント防止講習会
6 月 23 日 (水)	16 : 30 ~ 18 : 00	令和 2 年度決算および令和 3 年度予算説明会
7 月 21 日 (水)	16 : 30 ~ 18 : 00	障がいのある学生への支援
8 月 25 日 (水)	13 : 00 ~ 14 : 00	交通安全研修
	14 : 00 ~ 15 : 30	教職員向け就職ガイダンス
8 月 26 日 (木)	16 : 00 ~ 17 : 00	Google ドライブ利用方法と DX 化による業務効率化
8 月 27 日 (金)	9 : 30 ~ 10 : 30	消防・防災訓練
9 月 9 日 (木)	13 : 00 ~ 14 : 30	障がいのある学生への支援（本学の実例と対応等）
9 月 22 日 (水)	16 : 30 ~ 17 : 30	第 16 回学生満足度調査 集計・分析結果報告
10 月 27 日 (水)	16 : 20 ~ 16 : 35	教職協働
11 月 24 日 (水)	16 : 30 ~ 18 : 00	中期計画達成に向けた行動計画の中間報告
3 月 2 日 (水)	13 : 00 ~ 13 : 35	中退防止のための方策の検討

⑥ 中間評価の実施と自己点検評価書の作成

- ・7 年に一度の受審を義務付けられている外部認証機関による大学認証評価に関連して、2020(令和 2)年度に作成した自己点検評価書の内容について、4 月 28 日(水)開催の SD 会議において教職員間で共有した。

⑦ 大学開学 20 周年記念事業の計画および準備

- ・大学開学 20 周年記念事業として、「長岡大学研究論叢 開学 20 周年記念号」及び「長岡大学通信 20 周年記念号」を刊行し、大学関係者に配付した。
- ・長岡悠久会（長岡大学・長岡短期大学同窓会）から大学開学 20 周年を記念して大学校旗の寄贈があり、「校旗贈呈式」を行った。

(2) 入試に関する状況について

① 入学者数

- ・1年次では、入学定員 125 名に対して日本人学生 121 名と留学生 4 名（中国 3 名、モンゴル 1 名）を合わせて 125 名の入学を許可した。
- ・2年次へ 1 名（モンゴル 1 名）、3年次へ 2 名（日本人 1 名、中国 1 名）の編入学を許可した。
- ・中越高校から 16 名が入学した。
- ・県外からの日本人入学者は 6 名であった。

② 志願者数

- ・日本人の延べ志願者数は 218 名で、前年度 223 名に対して 5 名減少した。
- ・学校推薦型選抜入試（指定校、公募）の志願者は 66 名で、前年度 46 名に対して 18 名増加した。
- ・総合型選抜入試の志願者は 18 名で、前年度 26 名に対して 8 名減少した。
- ・一般選抜入試の志願者は 60 名で、前年度 61 名に対して 1 名減少した。
- ・大学入学共通テスト利用型の志願者は 74 名で、前年度 88 名に対して 14 名減少した。

③ 合格者の入学状況

- ・一般選抜入試と大学入学共通テスト利用型を合わせた合格者 119 名のうち入学者 39 名の割合は 32.8%で、前年度（入学者 33 名／合格者 66 名）の 50.0%に対して 17.2 ポイント低下した。

(3) 卒業生数、学位授与数と学生の活動に関する状況

① 卒業生数及び学位授与数 [名]

学科	令和 3 年 9 月卒業		令和 4 年 3 月卒業	
	卒業生数	学位授与数	卒業生数	学位授与数
経済経営	—	—	116	116

② 学位授与数（男女別・入学年度別内訳）[名]

学科	平成 26 年度 入学		平成 29 年度 入学		平成 30 年度 入学	
	男	女	男	女	男	女
経済経営	1	—	—	1	72	32

学科	平成 30 年度 編入学		令和元年度 編入学		令和 2 年度 編入学	
	男	女	男	女	男	女
経済経営	1	—	3	4	1	1

③ 進学状況

令和4年3月卒業者

(大学院)

- ・新潟大学大学院 現代社会文化研究科 1名
- ・上越教育大学大学院 専門職学位課程 1名
- ・日本大学大学院 生産工学研究科 1名
- ・事業創造大学院大学 事業創造研究科 1名

(4) 就職の状況

- ・2021(令和3)年度卒業生の就職率は99.0%(就職内定者96名/就職希望者97名)となり、企業訪問による求人開拓や、企業と学生のマッチングを強みに高い就職率を維持することができた。
- ・留学生4名が日本国内で就職し、うち1名は新潟県内で就職した。

【主な就職先】(順不同)

製造業

株式会社諸長
株式会社フジ機工
株式会社サンカ
スワロー工業株式会社
株式会社ユウワ
株式会社北村製作所
株式会社安中製作所
森井紙器工業株式会社
シマト工業株式会社
株式会社ホクエツ信越
株式会社 Roco on the run
シモダ産業株式会社
キャノントッキ株式会社
新潟太陽誘電株式会社
高速紙工業株式会社
第一ニットマーケティング株式会社
シンコー株式会社
有限会社新津興器
株式会社波多製作所

情報通信業

株式会社ミロク情報サービス
株式会社ジェイマックソフト
株式会社ジャパネット
株式会社ソリマチサポートセンター
株式会社エス・アンド・ピー

建設業

株式会社晴耕舎
株式会社国土

株式会社田中組
株式会社オリス
伊米ヶ崎建設株式会社
株式会社社長栄電設工業

卸売業

株式会社淵本鋼機
クロスウィルメディカル株式会社
株式会社三光社
日産部品新潟販売株式会社
さくらメディカル株式会社
株式会社スミック
株式会社アジカタ
船山株式会社
日本住環境株式会社
橋本貿易株式会社

小売業

株式会社コメリ
日産プリンス新潟販売株式会社
株式会社ウオロク
株式会社マルイ
アークランドサカモト株式会社
株式会社川内自動車
株式会社クスリのアオキ
株式会社オーシャンシステム
株式会社ホンダオート新発田
株式会社北越ケース
アクシアルリテイリンググループ
株式会社新潟ダイハツモータース

運輸業

大和自動車交通株式会社
東部運送株式会社

金融・保険業

株式会社セントラルパートナーズ
えちご上越農業協同組合

不動産業

株式会社 Global Family

医療・福祉

株式会社クレアメディコ
社会福祉法人信濃川令終会
社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会
社会福祉法人長岡三古老人福祉会
社会福祉法人見附福祉会
社会福祉法人泚山会
社会福祉法人栃尾福祉会

サービス業

株式会社ゲイクトマーケティングミックス
株式会社はま寿司
新潟総合警備保障株式会社
ライクスタッフティング株式会社
開成綜合株式会社

生活関連サービス業

株式会社新潟県厚生事業協同公社

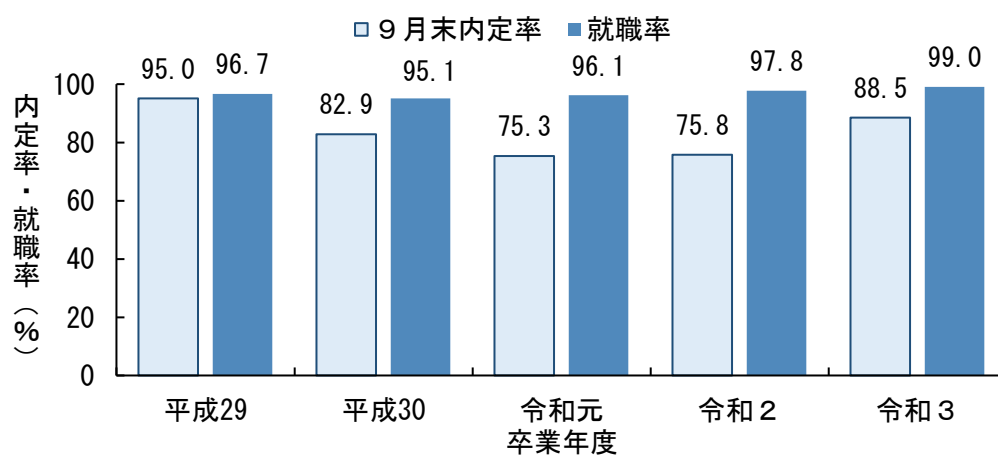
公務

自衛官一般曹候補生

その他(農業、漁業)

有限会社瑞穂農場
有限会社鈴清養鯉場

【長岡大学就職率・9月末内定率の年度別推移】



(5) 令和3年度 施設・設備の整備状況

- ① 図書館管理システム更新
・費用 5,900,000 円
- ② 事務室印刷機入替
・費用 2,475,000 円
- ③ 教室プロジェクター・スクリーン取替工事
・費用 1,951,840 円
- ④ 217 教室・226 教室換気扇取替・設置工事
・費用 1,481,700 円
- ⑤ 高圧電気ケーブル入替工事
・費用 1,382,700 円
- ⑥ エレベーターバッテリー交換他修繕工事
・費用 1,100,000 円
- ⑦ 学食自動券売機
・費用 544,500 円

3. 中越高等学校に関する事業

新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大防止対策に取り組みながら、教育活動を行った。感染拡大防止対策のため、中止した学校行事が数多くあった。コロナ禍で、毎日の学校生活、日々の生活のすべてに制限が付き、当たり前にできたことができなくなり、すべてがいつもと異なる環境で不安と先の見えない閉塞感に押しつぶされそうな状況の中でも、全校生徒、特に3年生は、将来の夢を見失わず、「若き今日眉上げん」の強い心で頑張った。

部活動の大会については、無観客等の条件の付いた大会もあったが、予定通り実施された。また、コロナ禍中でも開催された全国高等学校駅伝競走大会(都大路)に、陸上競技部駅伝チームが出場した。

(1) 教育研究について

本校は、「建学の精神」を、「進取の精神」と「文武一如」の校風と、「質実剛健」の校訓に具体化し、社会人準備期間にある青年として成長させるべく教育を行っている。教育の成果として現れる具体的なかたちとしては、「質の高い自己実現」と「問題解決力の向上」である。時代や社会の要請を見据えながら自らの考えに拠って生きる個性豊かな人間の育成に取り組んでいる。

また、普通コースの指導、特に教科学力向上と課題解決能力向上が課題であり、その解決に向けた対策は前年度までと同様に以下の取り組みを行い、成果も出ている。1～2年生については、①週末課題、②基礎学力や学習習慣の調査として全国的な規模で行われている「スタディサポート」と「基礎力診断テスト」の有効活用、③学習意欲の喚起・学習習慣や基礎学力の定着に向けた手だてをとっている。更に、1年生の学力不足生徒向け温習は改善しながら取り組んでいる。④すべての学年で補習、年数回の模擬試験受験、温習（3年生は就職補習）、⑤2年生で、課題研究を実施した(10年目)。普通科での、課題研究の実施は全国的にも珍しく、教科学習と異なり、答が一つでない、自分で課題・問題を見付けて、自分で解決する道筋を探るという点で、課題解決能力の開発、向上に資するものである。社会人になってからの、発展が期待できる。

ア. 生徒の様々な努力の成果を讃える「年間努力賞」の定着。

1年生 161人(53.0%)、2年生 145人(54.9%)、3年生 153人(45.8%)

(参考：年間努力賞の基準—当該生徒が人格・生活態度で問題ないことが「前提条件」。その上で①年間皆勤、②年間の学習成績優秀、③部活動の好成績、④英検・漢検・数検等の上級取得、⑤その他教職員から推薦のあった者)

イ. 学習習慣づけ・基本的な生活習慣づけに向けた生徒指導の徹底

①毎日の登下校指導

*登下校とも頭髪服装検査と挨拶の励行が基本指導。

*登校指導ではこれに加えて、駐輪場での自転車の置き方の指導・二重の鍵かけ指導を生徒会と共同で実施した。

②LHR、学年集会等の様々な場面で、学習習慣づけ・基本的な生活習慣づけの啓発。

ウ. 学校カウンセラーの活用

学校カウンセラー（非常勤、週2回）を配置。生徒はもとより、父母や教職員も活用して、定着している。「いじめ防止対策推進法」に対応した校内組織「いじめ対策委員会」のメンバーにもなっている。

エ. 学力差のある生徒への学力向上対策

- ①学力差の大きい生徒が一つのクラスに混在しているので、時間をかけて理解しやすい授業をすること、及び学習習慣や授業マナーの確立のために、夏休みの短縮等で授業時間を増やし、出張等の際可能な限り授業変更を行い、自習時間を無くすよう努めている。チャイムスタート・チャイムエンドをはじめとした授業マナーはかなり改善されている。
- ②授業レベルに達しない学力が低い生徒向け補習の改善――英数国の 3 教科で実施。対象生徒は教科担当による指名制。着実に成果を上げている。

オ. キャリア教育・進路指導の充実

- ①キャリア教育――ワークシート形式の市販教材を活用した指導や、生徒の意識改革をねらった指導に、年間を通して計画的に取り組んだ。
- ②大学進学指導――推薦による進学が多く（特に普通コース）、学力不足が否めないなので、対策として推薦希望者全員に大学入学共通テスト受験を義務づけ、学習継続を促している。特進コースは一般受験を勧めており、授業や補習もこれを前提にしている。大学進学後も活躍できる学力を保証する為に、平常補習と年 3 回程度の模擬試験受験を普通コース生徒にも課している。
- ③就職指導――就職試験問題への早期取り組み、三段階の面接指導など、キャリア教育とリンクさせながら、出口指導の改善に取り組んだ。

カ. 部活動の振興

- ①「進取の精神」と「文武一如」、「質実剛健」をリードする部活動
部活動の生徒たちが、生き生きとした表情で活動し、勉強も部活動も学校行事も真剣に取り組む生徒たちが学校の雰囲気を作っている。
- ②気持ちの良い挨拶、地域の清掃活動などを通して、幅広く地域のみなさんから応援してもらう学校になってきている。
- ③重点的な部活動を定めて後援会からの補助金予算配分の重点化や顧問配置・外部指導者増加配置を進めている。また、部活動で力のある生徒を、特別奨学生と一般奨学生として採用した。

キ. 元気な PTA 活動

コロナ禍のため昨年に引き続き、卒業生用の花リボン作り、文化祭での餅つき・PTA の部屋については実施できなかった。

ク. 広報活動の強化

コロナ禍の関係で例年夏と秋 2 回実施していたオープンスクールは、秋 1 回だけ密を避けるために 1 日のみで午前午後に分散開催した。

オープンスクール案内ポスター、中越高校の生徒の活動を伝える新聞（越高スポーツ）、部活動や大学進学に目覚ましい実績があると直ちに校舎に掲げる横断幕、懸垂幕を用意する等の広報活動を行なった。

(2) 生徒募集について

- R4 年度の入学者は 276 人(定員－44 人)であった。一昨年度の入試から、レベルアップをねらいとして従来よりも推薦基準を上げた結果、定員より少ない入学者となった。具体的には、昨年は定員－9 人、一昨年は定員－41 人(併願推薦入学者が予定より少なかった)となったが、今年度が

底と分析している。ここ数年が踏ん張り処で、進学実績と部活動の活躍の両輪の結果を向上し、学校の魅力を高め、選ばれる学校となるように、教職員一丸となって生徒の教育を行う。

- 公立高校が第 1 志望という受検生が多数派である現実が目下の所変えようがないが、難関大学を目指せる長岡地区唯一の私学であり、大学等への進学状況や就職希望者の 100%達成及び部活動の成果を内外に発信していく。

(3) 就職・進学について

今年度の卒業生は 334 名。大学・短大への進学者は 203 名 (60.8%、昨年 49.0%、一昨年 59.9%)、専修・各種学校への進学者は 99 名 (29.6%、昨年 40.5%、一昨年 21.9%)、就職者は 21 名 (7.2%、昨年 8.2%、一昨年 14.4%) であった。

コロナの影響があった昨年度と比較し、大学等進学者数が大きく増加した。特に女子生徒の大学等進学率が上昇している (53.5%、昨年 42.5%、一昨年 47.0%)。就職者数の減少は継続している。長岡大学への入学者は 16 名(昨年 15 名、一昨年 24 名、一昨々年 23 名)であった。

(4) 中越高等学校中期計画 (R1 年度～R5 年度) の 3 年目の進捗状況は、別紙に記載。

(5) 施設整備について

①野球場の内野表層改良工事

表土が飛び固い土の層が出ている状態であることから、部活動等に支障がないよう整備を行った。

工事費 1,408,000 円

②普通教室カーテン設置工事

普通教室にカーテンがなく I C T 授業に支障をきたしていたため、カーテンを設置した。

工事費 1,738,000 円

③印刷室、第 1 コンピュータ室エアコン入替え工事

印刷室、第 1 コンピュータ室のエアコンが故障し、旧型で修理不能なことから入れ替えを行った。

工事費 1,705,000 円

④外灯取替工事

校舎正面市道沿いの外灯が老朽化により腐食等が進んでいることから取替えを行った

工事費 508,200 円

⑤校内トイレ手洗い自動水栓化工事

新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの手洗いを手動から自動水栓に交換した。

工事費 1,072,500 円

⑥校内ネットワークの新設、WiFi 接続点設置工事

遠隔授業等へ対応するため、校内の LAN ケーブル配線と WiFi アクセスポイントの設置、映像配信システムの整備を行った。

工事費 8,173,440 円

⑦普通教室の黒板デジタル化工事

普通教室でスクリーンとプロジェクタを活用した黒板のデジタル化とスピーカーの設置を行った。

工事費 10,617,200 円

⑧特別教室のデジタル化工事

セミナー室等の特別教室にディスプレイ型電子黒板やホワイトボード等を設置した。

工事費 3,367,210 円

⑨教員用パソコンの整備

正規教員、常勤講師の人数分のパソコン設置と管理用サーバーの整備を行った。

整備費 サーバー 2,629,000 円

教員パソコン 10,887,360 円 (リース 60 ヶ月)